



式場庶謠子《「自分の星」と語る古代のヒト》《「自分の星」と語る古代のヒト(2)》《「自分の星」と語る古代のヒト(3)》2009 木版画【個人蔵】



追悼

し き ば し ょ お う こ

# 式場庶謠子 木版画展

—いのちのうた—

2021年 10月1日[金]~11月29日[月]

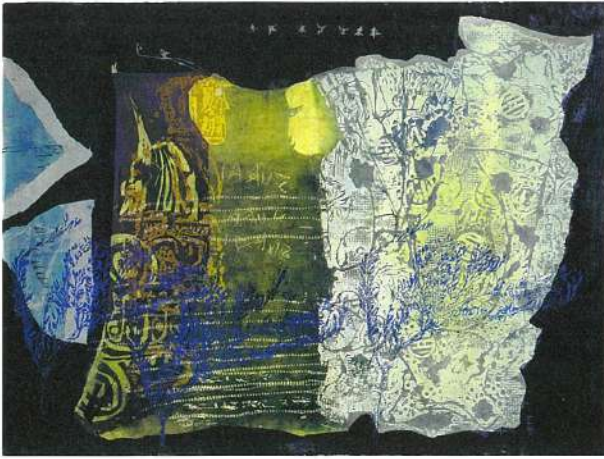
- 開館時間：9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日：火曜日、11月24日[水] ※11月23日[火・祝]は開館
- 入館料：一般500円、小・中学生200円、団体(20名以上)各50円引き  
障がい者手帳(ミライID含む)提示で各100円引き ※割引の併用は不可

星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1  
TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203  
<http://www.hoshi-uta-m.jp>







《さなぎと神さま》1985 木版画

本年7月10日、式場庶謳子先生が旅立たれました。当館は20年程前からご縁をいただき、これまで4度の個展を開催、今回5度目の個展の準備のさなかに届いた突然の訃報でした。いまだ大きな喪失感のなかではありますが、今展を当初の予定通り開催することで、先生への感謝を捧げ、追悼することといたします。

そもそも今展開催のきっかけは、当館未見の作品約50点が新たに発見されたことにあります。これらは式場が体調を崩し教職を辞した翌年、1983年から約10年間の、式場作品を語るには足りなかったミッシングピースともいえる作品群です。

当時、思うように羽ばたけない自身の姿を重ねるかのよう「さなぎ」の姿をモチーフに、ストーリー性を持った連作が続きました。…羽化を夢みるさなぎはやがて神さまと出逢い、魔法をかけられて美しい羽根を持つ蝶となる。神さまと蝶とさなぎたちは共に舞い踊る…。

「舞い」は1991年から始まる《舞い人》の連作に繋がります。同シリーズ制作中に式場は、「からだのフォルムにとらわれすぎて、人間のからだの内側にある大切なものを忘れて自分に気付いた。」といます。「からだの内側から発するものが、からだの部分、首、胴、手足の動きを導き出していくのだ、ということに気付いたのである。」と。では、なぜ人は踊るようになったのか？踊りの起源とは？そう考えた式場は「古代人」へと思いを馳せるようになります。

1993年以降は大作に挑み、等身大で描かれた古代の人々が歌い踊る姿は臨場感を生み出し、圧倒的な存在感で公募展受賞を重ねました。ここに至って、ついに式場は自身が纏っていた殻を破り、自由に羽ばたきことができる翼を得たのです。

今展では《古代の人》シリーズに至るまでを中心に、約70点を展覧いたします。生命のよこび、かがやきだけでなく時には憤りや哀しみまでも、生涯をかけて「いのちのうた」を謳い続けた式場庶謳子の作品世界を是非ご堪能ください。



《舞い人⑥鳥になりたや空とぶ鳥に》1991 木版画



《おどる古代のヒト トリになって》1998 木版画

追悼

しきば しよおうこ

# 式場庶謳子 木版画展

—いのちのうた—

2021年 10月1日[金]~11月29日[月]



《人間の詩 異星人か?否! —82才の自画像》2009 木版画

## 式場 庶謳子 (しきば・しよおうこ)

- 1927 1月1日 新潟県五泉市に生まれる (本名: 昭子)
- 1948 新潟県の小学校教諭となる
- 1972 第40回日本版画協会展【入選】(東京都美術館/東京)  
以降、同展への出品を続ける  
この頃からギャラリーでの個展開催を始める (新潟・東京・愛知など)
- 1982 病気のため教職を辞す
- 1987 日本版画協会準会員推挙 '98同会会員推挙
- 1993 第5回さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ【入選】(北海道)
- 1994 第10回現代版画コンクール【優秀賞】(大阪)  
第20回日仏現代美術展【入選】(東京・パリ)  
第5回国際現代造形コンクール展大阪トリエンナーレ版画【特別賞】(大阪)
- 1995 第5回花の美術大賞展【奨励賞】(兵庫)  
第4回青木繁記念大賞公募展【奨励賞】(福岡 他)  
第24回現代日本美術展【入選】(東京・京都)  
'95公募: 日本海美術展【優秀賞】(富山)  
第3回さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ【特別賞】(北海道)
- 1996 第11回現代版画コンクール【優秀賞】(大阪)
- 1997 第26回現代日本美術展【入選】(東京・京都)  
「新潟の美術'97」出品 (新潟県立近代美術館/新潟)
- 1998 第12回現代版画コンクール【入選】(大阪)
- 2003 個展「式場庶謳子 木版画展」開催 (星と森の詩美術館)  
'09・11・15も開催
- 2008 個展「式場庶謳子 版画展」開催 (五泉市立図書館展示室/新潟)
- 2010 「季刊 銀花 第161号」に特集掲載 (文化出版局)
- 2015 『式場庶謳子作品集 いのちのうたをうたう』出版
- 2021 『式場庶謳子作品集 いのちかがやく』出版  
個展「式場庶謳子木版画展 いのちかがやく」開催(ギャラリーみつづ/新潟)

7月10日 逝去 享年94歳

## 星と森の詩美術館

- ◇ 9:30~17:00開館 (入館は16:30まで)
- ◇ 火曜日・11/24●休館 ※11/23●開館
- ◇ 一般500円、小・中学生200円



〒948-0101新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203 <http://www.hoshi-uta-m.jp>

【交通アクセス】 ◆ JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で10分

- 関越自動車道「越後川口IC」より R117経由25分
- 北陸自動車道「柏崎IC」より R252経由50分
- 関越自動車道「六日町IC」より R253経由35分
- 北陸自動車道「上越IC」より R253経由70分

